

酒々井総合公園再整備事業基本計画(案)

本事業は、昭和48年に整備以来52年が経過し、老朽化が進む酒々井総合公園について、こども模擬議会での提案や町民ニーズを踏まえつつ、酒々井町全体への賑わい創造、経済効果の波及を目指し、民間活力を導入することにより酒々井総合公園の再生を目指すものである。

《参考：こども模擬議会での提案》

- 酒々井総合公園のアスレチックが撤去され、遊具が少なくなっています。子どもたちが体を動かして楽しく遊べる場所が減っています。…総合公園内に「SASUKEパーク」を作ることを提案します。

【コンセプト】

「もっと、体を動かすことが楽しくなる公園」を目指して！

～ 日本初（公設）のオブスタクルスポーツ公認コースとアスレチック設備の設置 ～

【再整備事業の目的】

- オブスタクルスポーツ導入による新たなまちのシンボル創設と魅力アップと知名度の向上
- 子どもや若者の声を実現することによる将来世代がまちづくりに参画する意欲の醸成
- 酒々井プレミアム・アウトレットへの来場者を町内に誘客するためのハブ機能の強化
- 総合公園の老朽化対策と維持管理、運営に民間活力を導入することによる官民連携の推進

オブスタクルスポーツ



オブスタクルスポーツは2024年に日本に上陸した、とてもエキサイティングな、新しいアーバンスポーツ競技です。“オブスタクル”とは、英語で障害物という意味、文字通り、いろいろな障害物をクリアしてタイムを競うスポーツです。

オブスタクルスポーツにはニンジャレース、オブスタクルコースレーシング(OCR)、アドベンチャーレースなどがあります。現在、国際オブスタクルスポーツ連盟(FISO)を頂点とし、世界各国で120以上のオブスタクルスポーツ団体が活動しています。

現在、オブスタクルスポーツ人口は2,000万人を超え、そのうちの約2万人のトップアスリートたちが世界各国で開催されている競技大会に参加。2017年からは、ワールドチャンピオンシップが開催され、2024年にコスタリカで開催されたOCRワールドチャンピオンシップには42ヶ国から800人が出場しています。

オブスタクルスポーツの一種目であるOCRは、TBSの「SASUKE」がベースとなった海外の人気TV番組「Ninja Warrior」にインスパイアされたもので、2024年4月には徳島県吉野川市に日本初のFISO公認コースである『オブスタクルスポーツ吉野川コース』がオープンしました。これは100mに12のオブスタクルが設置されている、世界でも珍しい常設コースで、ワールドチャンピオンシップを開催できる条件を満たしています。

2024年4月20日にはデモ大会を、同年10月13日には『第1回オブスタクルスポーツOCR100m日本選手権』を開催しました。

2028年に開催されるロサンゼルス2028オリンピックでは、近代五種競技の「馬術」に替わる新たな種目としてオブスタクルスポーツが採用されることが決まり、話題になりました。この、近代五種競技で採用されるオブスタクルスポーツは、70mに8つのオブスタクルを配置したもので、OCR100mをコンパクトにまとめたものといえます。



【オブスタクルスポーツとは】

酒々井総合公園に関するアンケート別添資料



01

Giant Steps

ジャイアントステップ

左右にある大きなステップを、斜め前に飛んでいく。



02

Monkey Bars

モンキーバー

いわゆる“うんてい”。お猿さんのように飛び移っていく。



03

1.5 Meter Wall

1.5メートルウォール

地面に垂直に立ちあがる1.5mの壁を乗り越える。



04

Balance Beam

バランスビーム

見た目は地味だけれど、甘く見ると落下するかも。

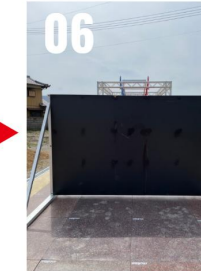


05

Wheels

ホイール

大きな輪をつかんで前進。ミスしたら奈落の感??



06

2 Meter Wall

2メートルウォール

壁が成長した!!
こちらはなんと2メートル!!

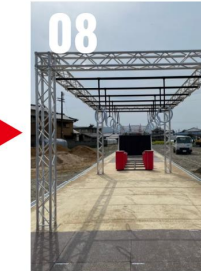


07

Island Hops

アイランドホップ

小島に見立てたステップは少しずつ高くなっていく!!



08

Rings

リング

ぶら下がる6個の大きな輪。丁寧につかんでは遅くなる!!

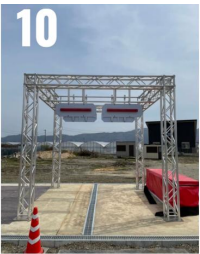


09

Net Crawl

ネットワール

高さわずか50cmのネット。抜けられるか??



10

Cliff Hangers

クリフハンガー

指に全体重が!!
疲れがたまったら腕にもプレッシャーが。



11

Tarzan Swing

ターザンスイング

太いロープにつかまって、ターザンのようにジャンプ!!



12

Finish Wall

フィニッシュウォール

最後にあらわれる巨大な壁。
一気に駆け上れるか??



結果あり

第2回OCR100m日本選手権 / OCR100m World Series

開催日：2025年10月18日（土）



結果あり

『2025年OCR100m公式大会 in 吉野川』

開催日：2024年4月19日（金）

2024年10月13日に開催した、日本初の『第1回オブスタクルスポーツ(OCR100m)日本選手権』を皮切りに、JOSAは公認大会を定期的で開催し、日本でのオブスタクルスポーツの普及と競技人口の増加、競技としての価値の向上を目指していきます。

また、JOSAが企画・開発した、主に子どもたちをターゲットとした「オブスタクルボックス」が、2024年9月に『オブスタクルスポーツ吉野川コース』に設置されました。これは5.6m (W) × 3.6m (D) × 3.3m (H) のボックス型施設内に9個のオブスタクルを集約したもので、OCR100mと比べ省スペースかつローコストで導入できます。これにより、多くの子どもたちがとても容易にオブスタクルスポーツに触れ、あらゆる身体の使い方を学び、楽しみを覚え、オブスタクルスポーツが子どもたちの健全な成長を促進する一助となることをめざします。

現在、JOSAは自治体・企業・学校などと連携し、オブスタクルボックスの全国各地への設置に取り組んでいます。



オブスタクルボックス

【再整備事業基本計画（案）】

第1段階として球技場エリアを中心に、オブスタクルスポーツを核としたアスレチック設備及びドッグランの再整備を行うこととし、エントランスゾーン（現駐車場周辺）やテニスコート等の施設については、運営状況等を見極めつつPark-PFI手法も視野に段階的な整備を実施する。

＜第1段階＞ 球技場エリア、テニスコート側トイレ

- ① オブスタクルスポーツのJOSA公認コースを設置（有料）※10m×120m（コース前後空間含む）が必要
- ② キッズアスレチックや健康増進器具を整備（無料）
- ③ 一部人工芝化することで多用途化（有料）フットサルなど
- ④ クラブハウス（コンテナハウス）整備
- ⑤ トイレの改修
- ⑥ 駐車場の拡張（現臨時駐車場）
- ⑦ ドッグランの整備（有料）



第2フェーズ以降、Park-PFI手法も視野に整備を検討。

＜アスレチック施設イメージ＞

＜大屋根空間＞



＜第2フェーズ＞
エントランスエリア、テニスコート等